

Tokyo Power Technology

Recruiting Book



人と技術で、
未来を拓く。



environmental protection

renewable energy



TEPCO

Tokyo Power Technology

幅広い事業フィールド!

身の回りの東京パワーテクノロジー

東京パワーテクノロジーは、電力の安定供給を直接支える事業はもちろん、
カーボンニュートラルや再生可能エネルギーへの取り組み、都市の緑化推進など、
私たちが生活している身の回りの領域にも活躍を広げています。
東京パワーテクノロジーの新たな一面を発見してください。

電力の安定供給を支えるため
発電所のメンテナンスに取り組む

福島の日も早い復興を目指し
地域と連携し復興支援事業に取り組む

安全・安心な生活に向けて
放射能の分析に取り組む

都市環境の改善に向けて
緑化推進に取り組む

持続可能な社会の実現に向けて
再生可能エネルギーの推進に取り組む

未来の地球環境を守るために
カーボンニュートラルに取り組む



詳しくは採用サイトへ!

事業フィールド

東京パワーテクノロジーは、社員一人ひとりが個性を活かしながら、
多彩な事業フィールドを展開しています。

プラント建設

原子力部門
柏崎刈羽原子力発電所や日本原燃の原子力施設にて、福島第一原子力発電所における事故の教訓をふまえた安全対策に関する設備の設置工事を行っています。
出典：東京電力ホールディングス

土木建築部門
東京電力グループの火力・原子力発電所の設備に関する豊富な知識と技術を活かし、土木建築設備の改良・増強などの工事を行っています。社会インフラとしてのエネルギー事業を支え、豊かな生活の実現に貢献しています。

プラント保守

火力部門
稼働中の発電プラントの保守メンテナンス工事を行い、電力の安定供給を支える当社の基幹事業です。主軸は火力発電プラントの保守となりますが、その他さまざまな発電プラントの保守を請け負っています。
出典：JERA

原子力部門
原子炉設備やタービン設備など原子力発電所における保守点検や補修工事を行っています。設備の維持を通して、プラントの安全性確保に貢献しています。
出典：東京電力ホールディングス

土木建築部門
東京電力グループの火力・原子力発電所の土木建築設備に関する定期設備点検を継続的に行っています。設備の状態や変化を早期に的確に把握して、補修計画を提案するなど、お客さまの設備の高寿命化と効率的運用に貢献しています。

プラント運転

火力部門
火力発電プラントの水処理設備および排水処理設備の運転経験をもとにバイオマス・太陽光・非常用発電設備等まで、さまざまな発電設備の運転管理を行い、設備を安定かつ長期使用できるように効率的な運用を担っています。
出典：東京電力ホールディングス

原子力部門
原子力発電所における放射性廃棄物焼却設備や放射性廃棄物処理設備の運転業務を行っています。安全に運転が継続されていることを監視やパトロールにて確認をしています。
出典：東京電力ホールディングス

プラント廃炉・廃止・除却

火力部門
役目を終えた発電プラントは解体・除却されますが、廃棄物についても可能な限りリサイクルをします。解体・除却後も新しい発電プラントの建設事業につながる事業です。

原子力部門
福島第一原子力発電所原子炉建屋の使用済燃料プールから燃料の取り出し作業を完了しました(2014年に4号機、2021年に3号機)。2号機においては、燃料取扱設備設置箇所にある事故当時の残置物の撤去工事を実施し、燃料取り出しに向けた作業を行っています。また、廃炉作業に伴い発生したガレキ等の廃棄物は発電所構内に一時保管されています。ドローンを用いて上空から撮影を行い、保管状況を確認しています。

土木建築部門
東京電力グループ会社の一員として、福島第一原子力発電所の廃炉や火力・原子力発電所の廃止・除却に関する各種調査、修繕・解体工事など、これまでの経験と技術を活かし、最適な設計を提案して、効率的な作業を行っています。

Tokyo Power Technology

Business Field

ロボット・ドローン



原子力部門

福島第一原子力発電所の廃炉作業の進捗に応じ、必要な遠隔ロボットの開発を行っています。ペースとなる走行ロボットに、用途に応じアームや集塵装置などを載せることやアーム先端の工具を換えることで様々な作業に対応できるようにしています。このロボットの活用により放射線量が高い場所でも遠隔作業が可能となります。(当社が資本業務提携をしている白山工業との共同開発)



土木建築部門

火力・原子力・水力発電所等の土木建築設備に関する多様なニーズに対応し、最新鋭のロボット・ドローン技術を開発・活用して、各種設備の点検から取水池、沈砂池の浚渫など、広範囲に亘るメンテナンス業務を下支えしています。

地震防災



土木建築部門

原子力発電所を中心として長年にわたり培ってきた実績と専門的な技術力を活かし、「地震のモニタリング」「耐震安全性の評価」「建物の補強・修繕」「BCP研修・非常備蓄」など、日本中に安心を届ける幅広い地震防災ソリューションを提供します。

福島復興



環境部門

福島県富岡町に事務所を有し、原子力発電所構外の福島復興関連業務を担っています。放射線測定・放射線スクリーニング作業や中間貯蔵施設・減容化処理施設等の運営を通じ、社員一丸となり、地域社会と信頼関係の構築を図っています。



火力部門

東日本大震災以降、福島地域にはいくつもの産業プラント設備が建設されました。当社も東京電力グループの一翼として、設備の建設や保守点検工事において、福島地域の産業の発展及び雇用の創出に貢献しています。
出典：勿来IGCCパワー合同会社

環境アセスメント



環境部門

環境アセスメントは、対象事業が周辺の自然環境、地域生活環境などに与える影響について、事業者自らが調査・予測・評価を行うことをいいます。当社はコンサルタントとして、アセスメントを通じて事業計画段階から事業実施までをサポートしています。

環境緑化



環境部門

発電所や変電所、送電線等電力設備の緑地について生物相や環境に配慮した管理を行い、電気の安定供給へ貢献しています。学校・病院・福祉施設等では、緑による癒しを創出しています。また、環境を学ぶ場としての利用や利用者の安全性の向上など、ニーズに合わせた緑地の創出をサポートしています。

分析



環境部門

計量証明機関として、経験豊富な人材と高度な分析機器を備えた施設で、水質分析、廃棄物分析等の環境分析・測定を行っています。また、放射能分析、有害物質分析、作業環境測定に至るまで幅広いニーズに対応しています。



原子力部門

福島第一原子力発電所では、多核種除去設備処理水や原子炉建屋内に溜まっている水など様々な試料を分析しています。また、原子力施設周辺の海水や農作物・海産物の放射能測定も行っています。

尾瀬



環境部門

尾瀬国立公園での土地・森林の保全や公共施設の管理業務と山小屋の運営により、尾瀬を訪れるすべてのお客様に安全と楽しさをお届けします。

太陽光



火力部門

SDGsや再生可能エネルギーによる電力の買い取り制度などの社会的背景から、国内で普及が進んでいる事業です。太陽光パネルの低価格化や買い取り制度発足時のパネルの寿命問題もあり、除却・更新の需要が見込める事業です。



土木建築部門

太陽光発電所の特別高圧自営送電線や受変電設備を中心に、各種調査、設計、許認可申請手続から施工、安全審査対応まで一連の業務を行っています。自営送電線は数十kmに及ぶものもありますが、安全と品質を確保して工事を実施し、カーボンニュートラルの実現に貢献しています。

風力



火力部門

再生可能エネルギーの中でも洋上風力事業の入札で話題となっているように、国内でも注目されている成長分野の事業です。当社も国内の電源構成の変化に対応すべく新規事業として見据えています。
出典：東京電力リニューアブルパワー



土木建築部門

風力発電所の特別高圧自営送電線や受変電設備を中心に、各種調査、設計、許認可申請手続から施工、安全審査対応まで一連の業務を行っています。自営送電線は数十kmに及ぶものもありますが、風車内電気工事も含め、安全と品質を確保して工事を実施し、カーボンニュートラルの実現に貢献しています。

バイオマス



火力部門

再生可能エネルギーの中で、とりわけ安定供給に寄与するバイオマス。また、燃料源となるバイオマスチップについても地域の林業から排出されるものを利用することで、地域の産業発展の一助となる事業です。

水力



火力部門

再生可能エネルギーの中で、安定的でありながら温室効果ガスを排出することのない発電プラントです。地形に合わせた設備の構成となるので、発電プラントの保守については経験と柔軟な対応力を必要とします。
出典：東京電力リニューアブルパワー



土木建築部門

水力発電所の水圧鉄管、コンクリート暗渠、狭隘な排水管等の内部をロボットにより点検しています。ロボットの活用により、急斜面等の危険箇所への人の立入りを最小限に抑えるなど、安全かつ効率的な作業を実現しています。

石炭灰有効活用



火力部門

国内では環境負荷を抑えた高効率の石炭火力が新規建設・稼働中ですが、排出される石炭灰についても有効活用するためのリサイクル事業を行っています。



土木建築部門

石炭灰の有効活用に関する経験・技術を活かし、石炭灰を大量に使用したコンクリート材料の開発や消波ブロック等コンクリート二次製品の製造などを行い、カーボンニュートラルとお客さまのコスト低減に貢献しています。

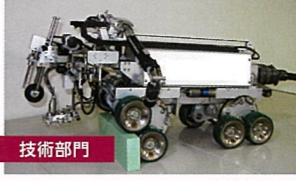
溶接



技術部門

「電気事業法などの法令に関わる発電所の高圧・高圧の配管溶接工事」から「一般工事」まで高い技術力と幅広い溶接ニーズに対応しており、溶接のスペシャリストとしての確かなスキルで対応しています。また、「ISO9001」および「民間製品認証(火力)」を取得しており、安全管理審査時の負担軽減など、信頼の品質でお客さまのニーズにお応えしています。

非破壊検査



技術部門

非破壊検査の専門部署として、火力、原子力発電所の設備に最新テクノロジーを積極的に活用し、設備保全に貢献しています。また、発電所での豊かな経験と独自の技術を融合させ、自動化装置(ロボット)や治具・工具を自社開発し、脱炭素発電設備である水力、風力、太陽光なども含め幅広く業務を行っています。

設計



技術部門

発電設備・コージェネレーション設備・プラント付帯設備などの新設・更新・改造の設計を行っています。近年は脱炭素社会に向けて、水素製造設備プラントのEPC事業で設計に携わっています。設計グループの業務内容としては、3Dレーザースキャナによる計測、3DCADによる作図をはじめ、さまざまな解析ソフトを使用した構造・応力・流体解析など、お客さまへ安全・安心な設備を提供するエンジニアリング設計を行っています。

保険サービス



保険部門

東京電力グループの企業保険代理店として、長年にわたり培ってきた経験、知識、保険技術を活かし、お客さまの経営リスクを最小限に抑える保険ソリューションを提案します。

一般事務



一般管理部門

電力の安定供給を支えるための幅広い事業の運営には、技術力以外にも「一般管理」の仕事が欠かせません。事業の運営方針や資金計画の策定、新規事業の開発、働きやすい職場の環境整備など、事業の成長に向けた取り組みや、社員が安心して仕事をするための総合的なサポートをしています。当社では、経営企画・経理・事業開発・総務・労務・人事・契約など様々な活躍の場があります。

Interview 社員インタビュー

01 Masashi Mizuno

**一刻も早く。品質は高く。
設備の復旧で
暮らしを守る。**



施工管理

水野 政

富津火力総括事務所 電気制御グループ
2008年入社
電気電子情報工学科 卒

家の近くにあったこともあり、身近な存在だった発電所。「いつか発電所で働く」という子どもの頃からの夢をかなえ、いまは、房総半島にある富津火力発電所構内に勤務し、発電設備の保守点検業務を行っています。主に担当しているのは、設備の自動制御に必要な圧力や温度の計測機器。その日常点検のほか、もしトラブルが発生すれば、発電所の運営会社や協力会社と協力して早急な解決に挑みます。特に緊急の電氣的トラブルは、原因が目に見えないことが多く、不具合箇所を特定して問題を解消するまでに時間がかかってしまうことも。現場の状況や図面をどれほど確認しても、不具合箇所にとりつけないことも珍しくありません。そんな時は、先輩の経験や過去の事例を手がかりに早急な解決を目指します。スピーディであることと、安全と品質を守ること。その板挟みになりながらも、全力を尽くしています。



02 Machi Kimura

**環境とインフラ。
正確な分析は、
その両方を支えている。**



環境化学分析

木村 万智

環境事業部 分析センター 分析測定グループ
2019年入社
海洋学部 海洋地球科学科 卒

インフラに関係した会社で人々の生活を支援したいと思ったことが、当社に興味を持ったきっかけです。ただ、最初は事務系を志望していて、就活中は「理系出身なのに事務系?」と言われることも。しかし、当社で言われたのは「事務系と技術系どちらを選んでもいい。会いたければ、どちらの先輩にも会わせるよ」という言葉。実際に両方の先輩社員と話し、次第に「環境分野で技術系として仕事をしたい」と思うようになりました。その想いがかない、現在は環境に関する分析業務に従事。具体的には、発電所などの排水、河川水、地下水、底質、土壌、産業廃棄物の規制基準に関わる依頼を受注し、受け取ったサンプルを分析・報告しています。正確な分析と報告によってお客さまに感謝されるのが嬉しいですし、自分の仕事がエネルギーの安定供給や福島復興につながっていると思うと、大きなやりがいを感じます。



03 Keita Tanaka

**非破壊検査で、
構造物を診察。
発電所を支える「医師」。**



非破壊検査

田中 啓太

技術部 技術センター 検査グループ
2019年入社
理工学研究科 量子線科学専攻 卒

現在担当している非破壊検査は、端的に言えば「構造物の医師」。人間を診察する時、医師は放射線や超音波によって切開することなく体内を調べ、病気を発見していきますが、私たちも同じ手法で、発電所の構造物を壊すことなく、異常の有無を調べています。たとえば、もしもある部分の金属が劣化して亀裂が生じれば、数百度にも及ぶ蒸気が噴出してしまうかもしれない。そういったことが起きないように、予兆として発生しているごく小さな傷も見落とさないことが使命です。このような日々の仕事を行ううえでも、「効率」は重視するようにしています。時間と心に余裕ができれば、ほかの仕事にも取りかかりやすくなりますから。この姿勢を貫くうえで、ただ前例を踏襲するだけではなく、「どうしたらもっとうまくいくか」を常に考え、気づきを発信していくことができる当社の社風はありがたいです。



04 Nana Fujita

**頼られている
実感を励みに、
精密な決算を支える。**



一般事務

藤田 奈菜

経営企画部 経理グループ
2017年入社
法学部 法学科 卒

幅広い事業を展開し、電力の安定供給と環境の両軸を支えている点が当社の魅力。「日々のあたりまえを守る会社で仕事がしたい」と考えていた私にはぴったりでした。そして、もうひとつ入社を決め手となったのは、面接の後、人事の方に「穏やかそうだけど、芯がある人だね」と言ってもらえたこと。企業側から私の印象を伝えられたのは、後にも先にもこの時だけでした。「人を大切にする会社」という印象は入社後も変わりません。現在は、社内のあらゆる人と関わる経理業務を担当。主に決算及び収支予想のための原価計算に携わっています。正確な値をもとに計算するために、社内の各所から上がってくるデータの確認と、間違いがあった場合の修正依頼を行うのが私のミッション。どちらの数字も対外的に発表されるため、「数字がどう間違っているか」「どう修正してほしいか」を根拠立てて伝えることを意識しています。



教育・研修

東京パワーテクノロジーでは、社員一人ひとりが順調にキャリアを高めていけるよう、入社後は入社1年目の「研修期間」を経て、「成長期間」「発展期間」というキャリアステップを設定。それぞれの期間に応じて、充実した人材育成制度をそろえています。

研修期間

入社1年目

先輩社員のフォローを受け、現場(第一線)で自立を目指す

成長期間

入社2~10年目

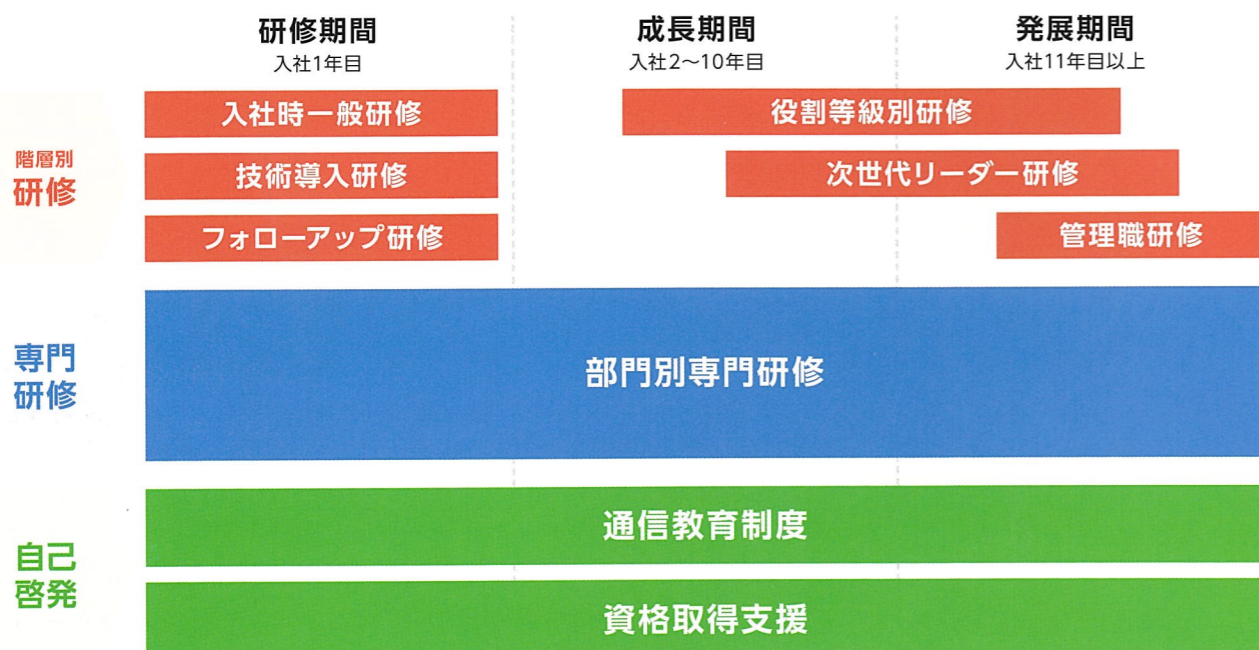
自立して一人前になる後輩のフォローを行う

発展期間

入社11年以上

実務について中心的な存在になる

主な研修制度



入社1年目の研修について



4月 新入社員研修

約1か月にわたる新入社員研修では、座学でのビジネスマナー等の研修にはじまり、足場組み立て実習や発電所見学などを行います。最後に1年間の目標を立てて発表し、各職場へ着任となります。



8月 尾瀬体験研修

環境保全事業を展開している尾瀬国立公園での体験研修となります。約20kmのトレッキングツアーや山荘支配人による勉強会を行います。



2月 フォローアップ研修

1年目の最後に実施するフォローアップ研修。4月の新入社員研修で立てた目標を振り返り、2年目につなげてもらいます。

福利厚生

社員のワークライフバランス向上に努め、社員寮、カフェテリアプラン、子育て支援など各種制度が充実しています。

カフェテリアプラン



会社から支給されるポイントを様々なメニューの中から選んで利用できる「選択型福利厚生制度」です。毎年65,000円相当以上のポイントが付与され、旅行、スポーツ用品の購入や、映画のチケット購入など、趣味嗜好に合わせて利用することができます。

利用例

旅行、レジャー、グルメ、スポーツ、映画、教育、子育て、介護など

資産形成支援



積立貯蓄制度

毎月給与から一定額(1,000円~)を別口座へ積立を行います。年度末には奨励金も。



家賃補助

本人名義の賃貸物件に居住の場合、一定の補助を支給。



住宅ローン補助

本人名義の土地、家屋購入によるローン残高を500万円以上有する場合、一定額を支給。

仕事と家庭の両立支援



短時間勤務

小学校6年生までのお子様、介護が必要なご家族を持つ方が、勤務時間を短縮して仕事をすることができます。



子の看護休暇

小学校6年生までのお子様がいる場合、年5日(2人以上の場合10日)まで取得可能です。



介護休暇

介護が必要なご家族がいる場合、年5日(2人以上の場合10日)まで取得可能です。



在宅勤務

自宅で仕事をする在宅勤務制度あり。働きやすい環境が整備されています。

社員寮(単身寮)



各勤務地の近くには社員寮を完備しており、自宅からの通勤時間等、一定の条件を満たせば入居可能。初めての一人暮らしや遠方から入社を検討されている方も、安心して会社生活をスタート出来ます。

●安価な料金で利用可能 ●食堂、家具、家電付き寮多数 ※寮設備によって異なります。

そのほかの制度



文化会活動

社員の親睦、文化体育の向上を目的に事業所ごとに開催されています。過去には浅草水上バス乗船やボウリング大会などを実施。



クラブ活動

フットサル、テニス、山登り、茶道、陶芸といったクラブ活動を定期的実施。会社から活動費の支給を受けることができます。



ダイバーシティ&インクルージョン推進

外面や内面の属性に関わらず、従業員一人ひとりの個を尊重し合い、充実感や満足感の得られる職場づくりを目指し、様々な取り組みを実施しています。

Location



 東京パワーテクノロジー株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目5番13号

TEL 03-6372-7040

<https://www.tokyo-pt-recruit.jp>

Copyright © Tokyo Power Technology All Rights Reserved.

